

11・12月の休診日：毎週日曜・月曜、11/3日(水)、23日(火)

12/29日(水)、30日(木)、31日(金)

公立久米島病院  
小児科 渡邊 幸

## 「子ども虐待と前向きな子育て」

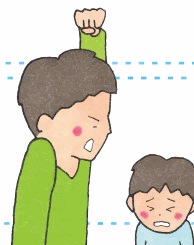
11月は「児童虐待防止強化月間」です。児童虐待とは、子どもを守るべき大人(親や保育者、教師)が、子どもの心や身体を傷つけることを言います。これらは子どもの心に深い傷を残し、思春期や大人になってから人間関係等で苦労したり、後々まで深い影響を及ぼします。虐待は重大な人権侵害であり、2020年4月より日本でも体罰を禁止する法律が成立しました。

一方で、虐待をしている保護者や大人は、「しつけのため」と思い込み、虐待であることを自覚していないことが多いのです。

### <こんなことしていませんか?>

- ・「お前なんか生まれてこなければよかった」など子どもの存在を否定するようなことを言った
  - ・やる気を出させるという口実で、兄弟や他の子供を引き合いに出して、その子をけなした
  - ・約束を守らなかったのに、遊びに参加させなかった
- これらは全て**心を傷つける行為**です。

- ・言葉で3回注意したけどいうことを聞かないので頬を叩いた
  - ・友達を殴って怪我をさせたので、同じように子供を殴った
- これらは全て**体罰**です。



### <前向きな子育てのすすめ>

どうしたら子供を傷つけない子育てができるのでしょうか。「ポジティブ・ディシプリンのすすめ(明石書店)」にはこのように書かれています。



- ①長期的な目標を考える：「どんな子に育てて欲しいのか？」を関わる大人同士で話し合う。
- ②ルールを明確にする：ルールは優先順位の高いものから数個程度に。決めたルールは絵や文字で掲示し、その都度確認する。
- ③子どもの考え方・感じ方を理解する：子どもの考えを聞く。どうすればいいかを一緒に考える

「子どもの目線になる」関わりを目指す、「一方的に」「力づくで」「脅したり、辱めて」いうことをきかせようとする関わりから遠ざかることができます。子供にはルールが明確にされている必要があり、できないときには助けてもらう権利があります。そして、「寄り添ってもらえた」という経験は、「人の話を聞く」「ルールを守ろうとする」エネルギーになるのです。

子供との関わりで困っている方は、ぜひこの3つができているかどうかをチェックしてみることをお勧めします！

### 支援者

10月～3月まで

公立久米島病院 内科  
濱近 草平 (はまちか そうへい)



10月から赴任してきました濱近(はまちか)と申します。出身は四国の香川県です。これまでは奈良市の市立奈良病院で働いていました。久米島は初めてですが、見たこともない綺麗な青い海にさっそく魅了されています。離島や山間部で仕事をしたいと思ってきましたので、ここに来られてとてもうれしいです。半年間の予定ですが、島のみなさんの健康のために一生懸命頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。